

ヒノキ花粉除去試験

試験結果報告書

No.220S-1049
令和2年7月14日

株式会社 Onedum 殿

遠赤外線応用研究会
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 ヒノキ花粉除去性能試験

試験試料 Air Design Card (シート)

試験条件 1) 試験日時 令和2年7月14日
2) 測定機器 DYDOS CORPORATION製 DC110プロB型

試験方法 60L (50cm×40cm×30cm) のボックス内に約7,500個/cc濃度のヒノキ花粉を入れ、時間経過による濃度を測定し、空試験結果とする。次に、Air Design Card (シート) (20cm角) をボックス内の中心に配置し、上記濃度のヒノキ花粉を入れ、時間経過による濃度を測定し、比較検証する。
なお、表示の数値としては初期濃度を100%として、ヒノキ花粉が減少していく割合を連続測定する。

試験結果

Air Design Card (シート) 使用によるヒノキ花粉除去性能試験結果

	経過時間			除去率
	初期濃度	30分後	60分後	
Air Design Card (シート)	100	57.6	23.5	76.5
空試験	100	91.5	88.4	11.6

(単位: %)

考察 供試のAir Design Card (シート) を使用した場合、ヒノキ花粉の除去率は60分経過後で76.5%に達した。一方、空試験の場合は11.6%に止まった。
このことから、Air Design Card (シート) には、空気中のヒノキ花粉を除去する性能があることが示唆された。
尚、本試験結果は一定の密閉空間での試験による結果であり、実使用空間での実証試験ではありません (カタログなどには明記して下さい)。

本報告書は供試材料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

ヒノキ花粉 60分後の除去率

